

▼ サンプルや標準品について

Q. サンプルの準備はどうすればいいですか？

A. 各サンプルに適した保存・輸送温度でお送り下さい。

サンプル	保存・輸送温度	備考
ヒト・動物組織		
新鮮凍結	冷凍	＜凍結方法 一例＞ イソペンタンを入れた容器を液体窒素で冷却し、イソペンタン中で組織を凍結後、冷凍(-80℃)保存。※ 液体窒素中に直接包埋剤によるイオン化阻害の可能性有り
包埋済 パラフィン (糖鎖分析のみ)	常温	
植物	常温／冷蔵	
三次元培養組織	冷凍	
食品	冷凍	

- ・ 冷凍便はドライアイスを十分量同梱した発泡スチロール容器でご発送ください。
- ・ 凍結サンプルは輸送時に破損する場合がございます。容器にキムワイプを入れるなどの破損防止措置を行うことを推奨します。
- ・ お客様で切片作製をされる場合は、弊社から MSI 用スライドガラスを送付致します。
- ・ サンプル発送及び弊社到着予定日をメールにてお知らせ下さい。
- ・ 上記に記載のないサンプルについてはご相談下さい。
- ・ 発送は代理店経由または弊社へ直接ご発送下さい(代理店経由の場合はご相談下さい)。

<サンプル・標準品送付先>

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1 大阪大学 産学共創 A 棟 105 号室 tel : 06-6879-4210 mail : group1@miruion.com 株式会社ミルイオン 受託営業部 宛
--